2025年度(2025年2月施行分)　大学院社会学研究科入学試験問題

社会学専攻　(博士課程前期課程)　<一般入学試験>

専門科目

次の4問から2問を選択し解答しなさい。解答は、選んだ問いごとに別の解答用紙を使い、どの問いに対する解答であるかがわかるように解答用紙の問題番号欄に問いの番号を記入すること。

【問1】 下記のマンガに示された状況について、下記の語群に示した人名・用語のうち3つ以上を用いながら記述しなさい。人名・用語の初出の箇所には下線をつけること。

語群：鏡に映った自己　一般化された他者　印象管理　儀礼的無関心　クーリー　ミード　ゴフマン　公共空間

[redacted]

[redacted]

出典：長谷川町子『サザエさん』64巻、朝日新聞出版

【問2】社会学的なジェンダー研究において、「セックス」と「ジェンダー」という概念がどのように定義され、使用されているのかを説明しなさい。そのうえで、「セックス」と「ジェンダー」を区別する考え方が導入されたことの、フェミニズムや学術研究にとっての意義を論じなさい。そのさい、下記の語群に示した用語のうち３つ以上を用いること。用語の初出の箇所には下線をつけること。

語群：差別　性差　家父長制　ジェンダー・アイデンティティ　セクシュアリティ　本質主義　構築主義　クィア・スタディーズ

【問3】社会学が「社会運動」をどのように捉えているのかを説明しなさい。また、なぜ社会学が社会運動に注目するのかについて、あなたの考えを論じなさい。そのさい、下記の語群に示した用語のうち３つ以上を用いること。用語の初出の箇所には下線をつけること。

語群：集合行動　近代　国家　政治　権力　資本主義　市民　コミュニティ　連帯

【問4】メディア・コミュニケーション研究の発展過程について、下記の語群に示した用語をすべて用いて、時系列に整理した上で記述しなさい。用語の初出の箇所には下線をつけること。なお、「映画・ラジオ」は一語として扱う。

語群：プロパガンダ研究　エコーチェンバー現象　培養理論　大衆社会　選択的情報接触　テレビ　映画・ラジオ　インターネット